

俺にも 言わせろ!!

HKS関西の向井さんからのパトタッチは、同じく関西地方のチューナーで「トライアル」の代表である牧原氏に。今後の業界のあり方について、熱く語っていただく。

全国有名チューナー リレーコラム

第14回 トライアル

牧原道夫 氏の巻

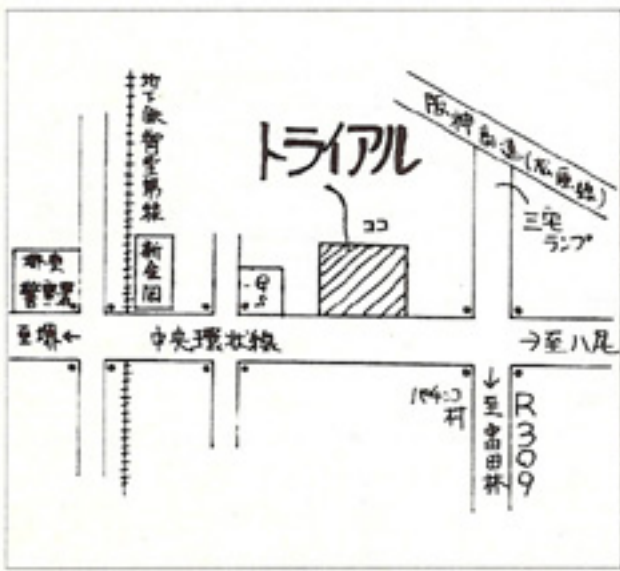


●プロフィール●

あの「L型」の全盛時代にチューニングにのめり込み、以後、最高速、ゼロヨンと、あらゆる舞台で活躍。この業界で、その名を知らぬ人はいない。



トライアル
〒591 大阪府堺市八下町4丁目102-9
☎0722(54)7039



**ユーザーの立場に
立った店を目指す**
今回、HKS関西の向井さんからの紹介で、オレが書くことになった。オレも、もう20年近くこの業界にいてことになる。20年近くもこの業界にいて、お客さん、読者、自動車雑誌関係、メーカー、ショップを問わず知人、友人でできる「人の輪」が広がり、それぞれの人たちによって、オレ自身がり立っているのが実感できるようになった。
オレがこの業界に入りたてのころは、今みたいにチューニングカーなんて街を走っていなかった。タイヤもラジアルタイヤ装着車なんて、ほとんどないころだ(ウソのような本当の話)。それから考えれば、今のチューニング人口の多いこと、何と幸せなことかと思う。が、今、チューニング業界にひとつの転換期が訪れようとしている、とオレは思う。今まではただ単に速いクルマ、パワーのあるクルマを表現する時代だったが、

今後はそうはいかないだろう、と考える。第一に、社会環境というモノを考えなくちゃならない時代に入ってしまった、とオレは思う。本来の意味でのユーザー(読者)の立場で、我々業界人としては考えなくちゃならない!!(難しく考えるのではなく)。
たとえば、メーカーも日々よい製品を作る努力をしなくちゃならないし、当然ショップもその製品の性能を100%発揮させる創意工夫をするべきだ。これらは当たり前前の話だとオレは考える(この当たり前の話ができてないメーカー、ショップは論外だ)。
また、今からの時代は、我々が魂を注いだそのクルマに、実際に使うユーザーが乗って、体験することが必要だ。そして、メーカー、ショップは「体験できる環境、場所」を作ってあげる。これが本来の意味での「ユーザーの立場に立った考え方」じゃなからうか?とオレは思っている。

ト作りを念頭に置いてスタートしたところだ!
なんか、カタい話になってきたので、普段のオレらしく、ミーハーに戻そう。今、トライアルに来店されるお客さんの中に、女性のお客さんが本当に多くなった。職業でいうと、看護婦さんとか、コンパニオンをしている人とか、女子大生、はたまた役所勤務までいる。ひよっとしてトライアルには女性メカニックがいるので気安いかも。そして、また、その女性のお客さんのチューニング志向の低いこと、高いこと、男勝負なほど「もっとパワーを上げてくれ」とか「足回りを固めて欲しい」とか「あのスポイラーを付けたい」などと要望する。旧世代のオレとしては、考えられない現象だ!
そんなトライアルの名物の中に、年に数回行なわれる「トライアルねるとん大パーティー」がある。こんなトライアルだから、女性を集めるのも全然苦にならない。250名くらいで行なうこのパーティーで、結婚したカップルも何組かいる。オツ、オレも若いギャルとデートをしたいなあ……。でもお客さんに手エ出すとバレルしなあ……。でも、あつ、そういえばオレが尊敬する人の中に、何人もの若いギャルに手エ出して、ウマイこと「バれてない」人がいる。よしつ、その人にコツを教えてください。おうつと……。

次回予告
「ウマイことバれてない人」というのは、次回に登場予定の「ガレージニュースポーツ」の藤井さんのことですか?というわけで藤井さん、よろしくお祈りします。
FORUMER
電車で行く場合は、地下鉄・御堂筋線の「新金岡」駅で降りて、中央環状線を八尾方面に、クルマの場合は、中央環状線と国道309号線の交差点を堺方面に行く。